

福島古今回廊めぐり

# 風のはじまり、風の起こり

2018.7.7sat

要事前申込  
先着  
40名様

16:30 開場 17:00 開会

会場 長楽寺 (禅堂 ホール)  
福島市舟場町 3-10

料金 1,500円  
(SAKAMOTO COFFEE のワンドリンク付)

第1部 基調講演

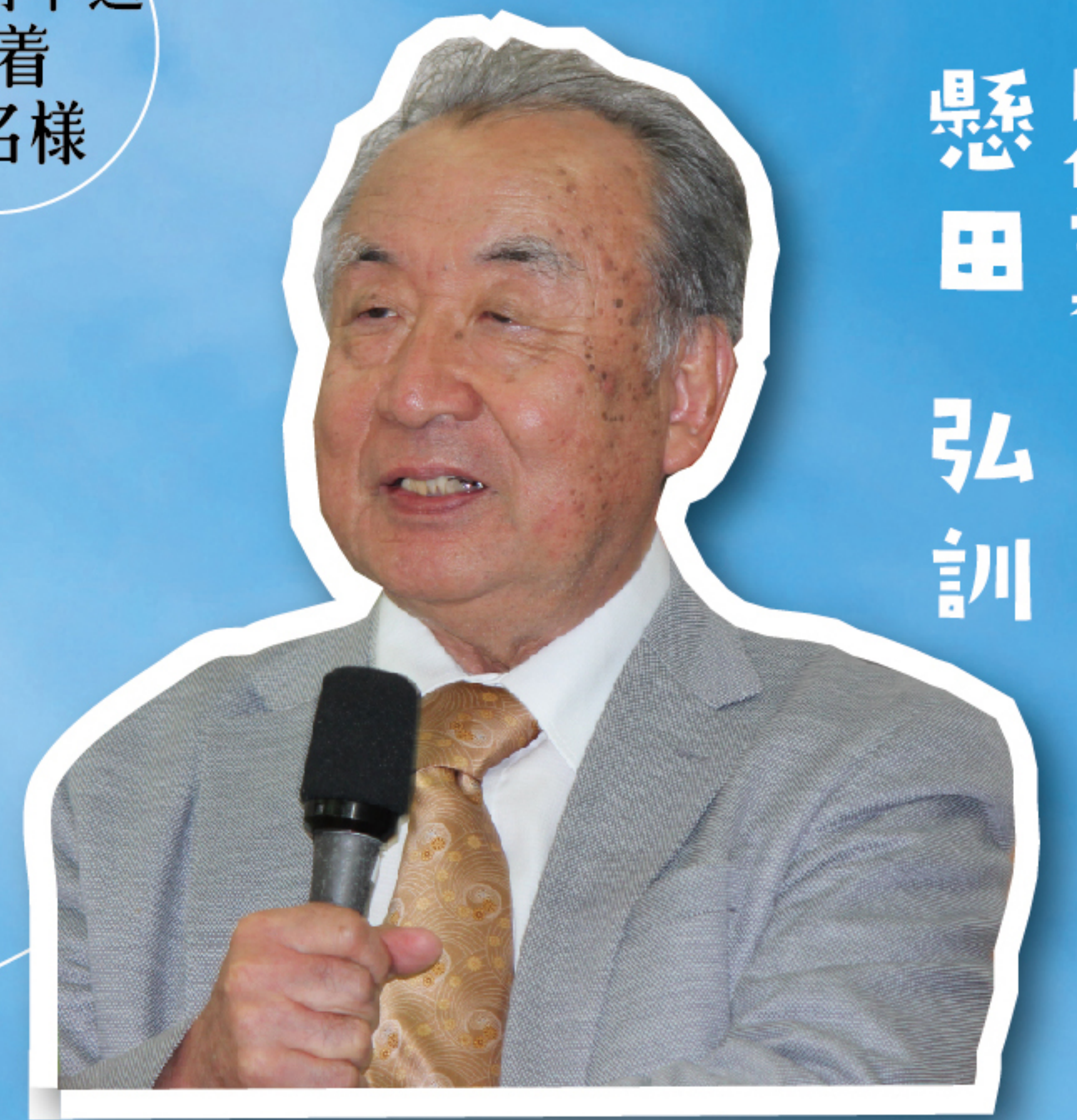
「懸田先生の楽しいお話」

出演：懸田弘訓 和合亮一

和合亮一  
発起人・詩人



懸田弘訓  
民俗学者



Cafe break

[SAKAMOTO COFFEE] の美味しいコーヒーでひと息



第2部 パネルディスカッション

ファシリテータ：清野和也 パネラー：浅野希梨 アニマル 阿部国敏 阿部大樹

清野和也  
劇団1300EN 代表



浅野希梨  
KINOKUMAYA 代表



アニマル  
ロメオパラディッツ



阿部国敏  
土湯系こけしエス



阿部大樹  
ぼんさいや「あべ」



参加お申込みはホームページまたはお電話でどうぞ！ TEL 024-536-3103

主催：未来の祀りふくしま実行委員会 <http://www.mirainomatsuri-fukushima.jp/cafe/>

後援：福島県 福島市 福島市教育委員会 協力：長楽寺 SAKAMOTO COFFEE



# 風のはじまり、風の起こり

福島古今回廊めぐり

2018.7.7sat

16:30 開場 17:00 開会

会場 長楽寺 (禅堂 ホール)

福島市舟場町3-10 TEL024-522-3918

料金 1,500円(SAKAMOTO COFFEE のワンドリンク付)

1968年福島市生まれ。詩人。中原中也賞、晩翠賞、みんゆう県民大賞、NHK東北文化賞など。東日本大震災の直後からツイッター上で「詩の磔」を発表し、反響を呼ぶ。詩集やエッセイ集、絵本などを多数刊行。「つづてソング」や「夜明けから日暮れまで」など合唱曲の作詞多数。現在、新聞や雑誌などの連載。ヨーロッパやアジアの数々のフェスティバルに日本を代表する詩人として招待。昨年の7月に仏語訳「詩の磔」がフランスにて第1回ニュク・レビュー・ポエトリー賞を受賞して話題を集めた。



Ryoichi Wago

お寺で

## トークと珈琲とディスプレイスカッション



Hironori Kaketa

昭和12年伊達市霊山町生まれ。福島大学卒。県立高校、県教育庁文化課勤務後、県立博物館学芸課長、県立川口高校校長などを歴任。現在、県文化財保護審議会委員、会津大学非常勤講師、民俗芸能学会評議員。特に、東日本大震災後は、民俗芸能学会福島調査団長として被災地に赴き、民俗芸能保存団体の被災状況や要望を取りまとめ、国・県の補助金や民間支援団体からの助成が受けられるよう、献身的な支援に取り組んでいる。



Kazuya Seino

山形県東根市出身、福島市在住。福島市の劇団120〇EN(ひやくにじゅうえん)の代表。「福島に住む人々のルーツを辿る演劇集団」として、福島市に伝わる民話や歴史を下敷きとした、福島だからこそ観ることの出来る創作劇を探し、定期的に上演している。直近では、2018年3月31日、市の公共ホール・福島市公会堂の休館日前日に、最後の催し物として『主演:福島市公会堂 会場:福島市公会堂-2018.03.31-』を上演。福島演劇鑑賞会事務局次長。日本劇作家協会会員。

1983年福島市生まれ。KiNoKuMaYA主宰。2011年以後、福島でおこる表現にこだわり、表現者と参加者が交わる場づくりを軸に舞台等の企画プロデュースを行う。2015年WS型マーケット“291”、2016年若手アーティストによる巡回展の共同開催、“オフグリッドサロン”、“能楽ワークショップ”、2018年暮らしの中にある文化を学ぶ“29楽校”などを企画運営している。人々の生活スタイルに寄り添った文化や領域横断的な表現活動のあり方を模索して、大学の研究コーディネーターとしても活動している。

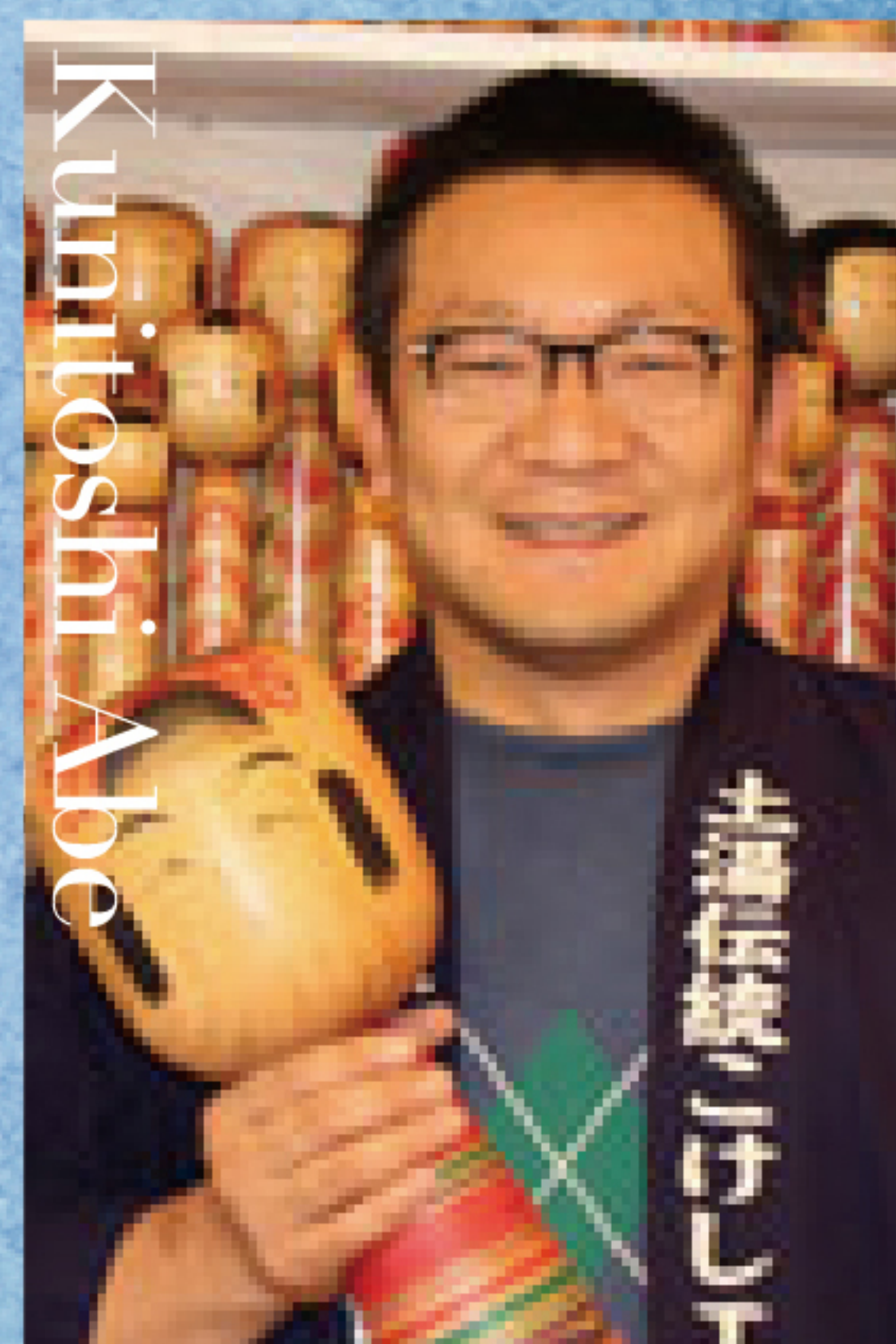


Kiri Asano

福島市出身。本名は菊田亜仁丸。1986年8月23日生まれ。31歳。小学校給食調理員。2013年6月 歌唱もダンスも演劇もまったく経験が無い状態で、男だけのパフォーマンス集団「ロメオパレディッソ」に加入。旗揚げ公演において、どういわけか主演に抜擢される。その後の3作でも表現を模索しながらも主演を務め、現在2代目キャストリーダー。



Animaru



Kunitoshi Abe

1972年土湯温泉の松屋阿部敏道の二男に生まれる。阿部治助氏を曾祖父に持ち、祖父の勝英氏、祖母のシナさん、父の敏道氏と続く土湯こけし工人。19歳でこけし工人の道に入り、陳野原幸紀について木地を修業、こけし製作にあたっては祖母シナ、義祖父勝英、父敏道から描彩の教えを受けた。福島市に由来もある美人画家の竹久夢二が愛した「治助こけし」の型をしっかりと継承し、太い眉と縮れたカセを特徴に美しいこけしを制作している。近年は、「ほほえみがえし」というかわいらしいこけしを発表し、各方面から注目を浴びている。



Daiti Abe

1980年、福島市生まれ。ほんさいや「あべ」の3代目。祖父・故阿部倉吉氏は、皇居の盆栽も手掛けた盆栽界の第一人者。大学卒業後、神奈川県で5年間修行。現在は、時に吾妻山に向き自然や風景と対峙しながら両親と共に祖父が確立した作風「空間有美」を追及し続けている。講演や盆栽展、こけし作り体験などを通して盆栽の魅力を国内外に発信する活動も行っている。近年は、磐梯朝日国立公園吾妻連峰の吾妻五葉松の保護や利活用について地域関係者と勉強会を開催するなど活動の幅を広げている。



参加お申込みはホームページまたはお電話でどうぞ!

未来の祀りふくしま実行委員会 TEL 024-536-3103 <http://www.mirainomatsuri-fukushima.jp/cafe/>

